

冠動脈性心疾患リスクマーカー測定試薬「s LDL-EX「生研」」を4月1日から販売開始  
～超悪玉コレステロールを測定する国内初の体外診断用医薬品～



< s LDL-EX「生研」 >

デンカ株式会社（本社:東京都中央区、代表取締役社長：今井 俊夫）は冠動脈性心疾患リスクマーカー（\*1）である small dense LDL-コレステロール（超悪玉コレステロール、以下：sdLDL-C）を測定する国内初の体外診断用医薬品「s LDL-EX「生研」」を、4月1日から販売を開始いたします。

本製品は冠動脈性心疾患発症リスク管理の補助を目的とした測定試薬です。汎用の自動分析装置と組み合わせて使用することで、約10分で人の血液中のsdLDL-C値を測定し、心筋梗塞や狭心症といった冠動脈性心疾患発症リスクを評価いたします。

コレステロールは人の血液に含まれる脂質の一種であり、血管内の余分なコレステロールは善玉（HDL）と呼ばれる粒子によって肝臓に回収されています。一方、悪玉（LDL）と呼ばれる粒子もコレステロールを運搬していますが、この量が増えすぎると、血管内に余剰なコレステロールが蓄積します。近年、悪玉コレステロールの中でも超悪玉コレステロール（sdLDL-C）が特に動脈硬化を引き起こす原因になる（\*2）ことが指摘されている他、メタボリックシンドローム、高血圧、糖尿病、動脈硬化の重症度等との関係を示す研究が多数あることから、人間ドックや健康診断などを通じてsdLDL-C値を測定することには臨床的に重要な意義があります。

本製品を通じて測定における医療関係者の負担軽減だけでなく、日本における死因の第2位（\*3）を占める心疾患の予防や医療費の抑制に寄与するとともに、人々のQOL向上に貢献いたします。

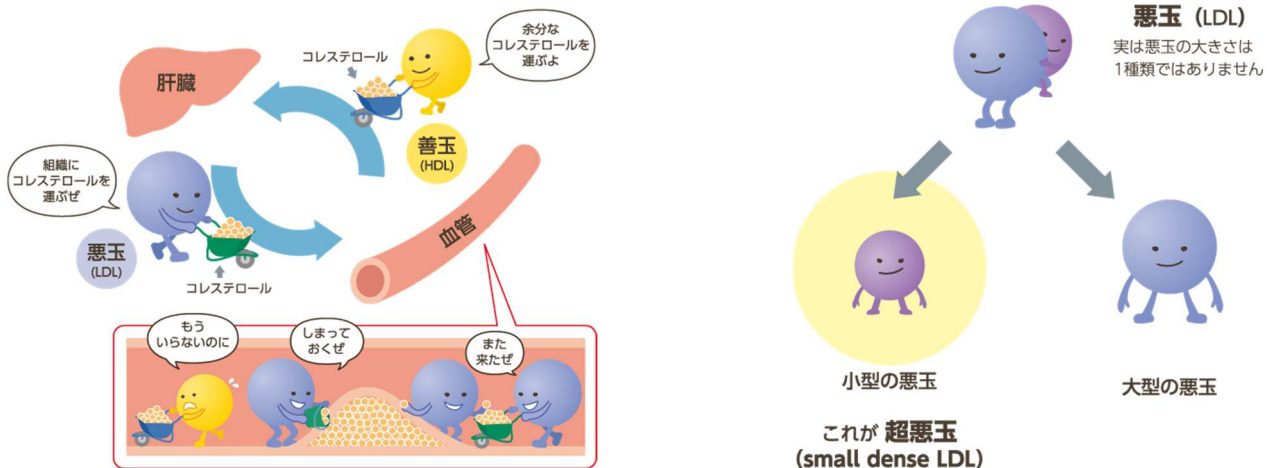
当社は今後もSDGsを羅針盤に、誰よりも上手にできる仕事で全ての人がより良く生きる世界をつくる、社会にとってかけがえのない企業を目指してまいります。

以上

（\*1）心疾患リスクマーカー  
心疾患発症の可能性を示唆する因子

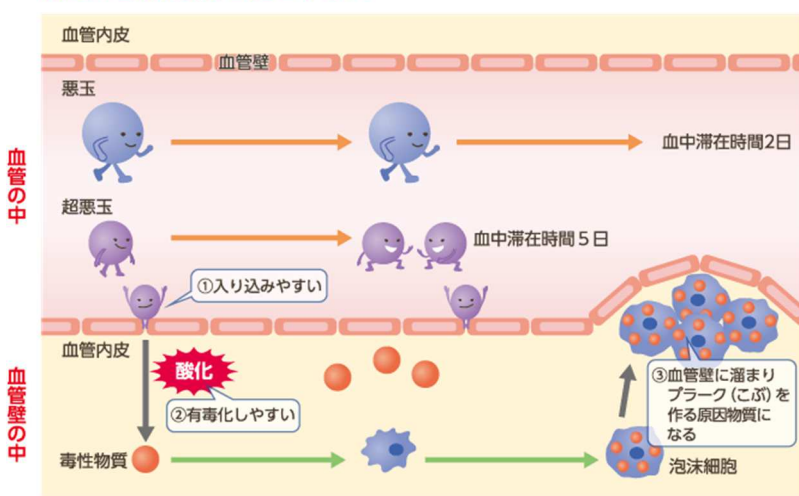
(\*2)ご参考

<各コレステロールの種類と役割の図解イメージ>



<例：sdLDL-Cによる動脈硬化発生の図解イメージ>

**悪玉が動脈硬化を起こすまで**



※当社運営の一般向け解説サイト「sd-LDLどっどこむ」より <https://sd-ldl.com/>

(\*3) 厚生労働省「令和2年（2020）人口動態統計（確定数）の概況」

【製品概要】

一般的名称	sdLDL - コレステロールキット
製品名	s LDL-EX 「生研」
製造販売承認番号	30300EZX00081000
対象市場	日本
製造販売元	デンカ株式会社
有効期間	12 箇月
希望納入価格	200,000 円（税別）

【ご参考：本件に関連する過去プレスリリース（当社ホームページ）】

・2021年11月16日 「心疾患リスクマーカー「sdLDL-C」測定試薬の製造販売承認を国内初取得」

[https://www.denka.co.jp/storage/news/pdf/966/20211116\\_sldl-ex.pdf](https://www.denka.co.jp/storage/news/pdf/966/20211116_sldl-ex.pdf)

【報道関係者からのお問い合わせ先】

コーポレートコミュニケーション部 電話：03-5290-5511

【医療関係者からのお問い合わせ先】

ライフイノベーション部門 ワクチン・診断薬事業本部  
国内試薬部 試薬学術課 電話：03-6214-3235